

ブカレスト日本人学校 就学・編入事前相談について

本校への入学・編入の際は、校長による就学・編入事前相談を実施します。その状況に応じて入学及び編入の可否を行ないます。

就学・編入事前相談の目的と内容

事前相談の目的は、保護者の方とお子さまに本校を見学していただき、本校を理解していただくことが一番の目的です。さらに、お子さまが本校へ入学・編入する際にスムーズに学校生活に慣れ、お子さんにとって最もよい教育が受けられるように準備するために行なうものです。

①日本人学校への理解

- 学校内の見学や授業へ参加し、施設や日本語授業への理解
- 本校のルーマニアでのステータスへの理解
- 契約書への理解
- パスポートの提示（教科書無償配布等のため）

②就学・編入に関する相談と理解

- 本校学校生活についての相談及び理解（バス通学、時間等）
- お子さんの健康面、支援教育についての相談及び理解
- お子さんの日本語での授業等についての相談及び理解

③就学时健康診断への協力

小学校入学後の学校生活での支障の有無をホームドクター等で検査してもらい、アレルギーなど日常生活で支援が必要なことがあれば学校へ知らせてください。取得情報により学校はできる限り対応していきますが、内容によりできない場合もあります。ただし、日本国内で就学时前検診を行なっている場合は、その状況報告で同等とします。本校への報告と実際が異なる場合は、入学又は編入許可を取り消す場合もあります。

就学时健康診断の項目

- 栄養状態（栄養不良、肥満傾向、貧血などの有無）
- 脊柱（せきちゅう）および胸郭に異常がないか（成長発達段階にある幼児の脊柱や胸部、四肢、骨、関節などに異常がないか）

- 内科的な疾患の有無
 - 視力・（色覚）・目の疾患の有無
 - 聴力・音声言語に異常がないか
 - 耳・鼻・のど（耳鼻咽喉頭疾患の有無）
 - 皮膚の疾患の有無
 - 歯・口の疾患の有無
 - その他の疾病など（知的障害や発達障害など）
- 等をできるだけホームドクター等で調べてもらってください。

（検査内容は相談可）

④学校からお子さんへの質問

お子さんへの質問は、「お名前を教えてください」「幼稚園はなんという幼稚園ですか？」「仲のよいお友だちは？」「幼稚園では、何をして遊んでいるの？」など簡単なことをお聞きします。また簡単な運動も行なってもらいます。

【当日の持ち物】

- 母子健康手帳（既往歴、成育歴、予防接種歴などを確認）
- パスポート
- 筆記用具

【当日の心構え】

- 保護者は普段着で、リラックスしてご来校ください。
- お子さまもリラックスでき、簡単な運動ができる普段着でお願いします。

【就学時健康診断への事前準備】

特に就学時健康診断への協力は、発達の確認や、今まで気づかなかった見え方（視力など）や、聞こえ方（聴力）が、わかる場合もありますし、隠れた病気が見つかる場合もあります。治療をすれば治るケースが多いはずです。あまり身構えず、ゆったりと落ち着いた気持ちで臨んでください。

病院での健診を受ける前に、子どもに伝えておくといよいこと
健診で、親との検査に不安を感じたり、初めての場所や人に緊張して
しまったりするお子さんもいます。心配な場合は、事前にどんなこと
をするのか、話しておくのもオススメです。

伝え方例①

「入学する前に、小学校へ行ける日があるんだよ。小学校で楽しく
勉強するための準備ができているか、確かめてくれるんだって。

あと、病院で体をみてもらうんだ。黒板の字がちゃんと見えるか
な、先生の声がちゃんと聞こえているかなって、目や耳の検査もする
し、病気がないかも調べてくれるよ。虫歯があったら、ごはんをおい
しく食べられないから、歯の検査もしようね。痛いことはしないから
安心してね」

伝え方例②

「それから、学校では先生に言われたことをするコーナーもある
よ。聞かれたことに答えたり、ちょっと運動したりするコーナーもあ
るよ。園で遊んでいる続きみたいなことだよ。うまくいなくても大
丈夫。一生懸命やっていることはちゃんと伝わるからね」

伝え方例③

「心配しなくていいよ。緊張しないで、なるべくにっこりしていよ
うね。ニコニコしていると、小学校が楽しみだって伝わるし、困った
顔でいると、小学校へ来るのが嫌なのかな？ って心配されちゃうか
もしれないからね。ちょっと緊張しちゃうかもしれないけど、みんな
そうだから大丈夫。いつもどおりの〇〇ちゃんを楽しめばいいよ」

など、お子さんにあった方法や言葉で安心して入学できるための準備
で、心配しないでよいことを伝えてください。

引っかかってしまうのはどんなケース？

「虫歯がある」とか、「視力が悪い」などのケースが多いよう
です。こうした場合は、歯科や眼科を受診します。

また、初めての場所や人に緊張してしまい、普段できることができ
なくなる…というケースも考えられます。

お子さんのなかには、集団で教育を受けることが向いている子もいれば、向いていない子もいます。支援クラスでの教育がいいのか、支援学校への進学が適切なのか、地域によっても対応が異なります。

「ギフティッド」と呼ばれる特殊な才能があるお子さんも、集団での教育には向かないことが知られています。

就学事前相談及び検診のために、特別な準備をする必要はありません。ただ、年齢的にふさわしい生活をしているか、ご家庭で確かめてみるのもよいでしょう。以下の点について考えてみてください。

- 自分のことを自分でしていますか？
- 自分で考えて行動していますか？
- 問われたことへ自分なりに答えられますか？

いつも親が先回りして、言われたことだけをしているお子さんは、自分で考える力がついていないかもしれません。

「〇〇ちゃんはどう思う？」「〇〇ちゃんはどうしたい？」など、子どもが自分で考えて、思いを伝える機会をつくっていきましょう。そしてその都度、「いい考えだね」「自分で考えたんだね」とほめると、自己肯定感も上がっていきます。

就学事前相談は、入学前に本校を訪れてもらい、先生や年上の児童と触れ合ったり、教室を回ったりする機会となります。小学校入学に向けて、よい経験ができるチャンスとして受けとめてください。